

山梨県のキャリア教育における現状と問題点

- ・各学校において体系的にキャリア教育は行われているが、校種間でつながった指導となっていない面が見られる。
- ・職業体験やインターンシップ、進路指導等は各学校の特色や実態に応じて計画的に行われており、それらの活動を通じた満足度は高い。しかし、各活動の体験を積み重ねた、中・長期的な振り返りがなされていない部分があり、将来に向けての意識や行動の変容がやや乏しい。
- ・各学校行事はキャリア形成の視点で行われ振り返りもなされているが、キャリア形成における付けたい力が明確にされていない部分がある。

キャリア・パスポートの定義

キャリア・パスポートとは、キャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動やホームルーム活動を中心として、各教科と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら自身の変容や成長を自己評価できるように工夫されたポートフォリオのこと。小学校から高等学校を通じ、児童生徒が自らの学習やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして自己評価を行い、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につながるもの。また、教師や保護者が対話的にかかわり、成長を促し系統的指導に資するものとする。

キャリア・パスポート活用のねらい

児童生徒の新たな学習や生活への意欲につながったり、主体的に自己の在り方や将来の生き方を考えたりできるようになる。

また、教師や保護者が、児童生徒の状況を把握し対話的に関わり目標を支援することで、学校、家庭及び地域の学びを、児童生徒が自己のキャリア形成に生かそうとする態度が養われる。

キャリア・パスポート活用により期待される効果

児童生徒が、学ぶことと自己の将来のつながりを見通し自らの変容や成長を自己評価することで、社会的職業的自立に向けて必要となる資質・能力が身に付く。また、自己肯定感の醸成が促され、生まれ育った山梨に愛着を持てるようになる。

運用方法

様式と装丁

【様式】

- 各学年5枚以内（裏表），A4サイズ
- 例示資料を学校毎，市町村（組合）教育委員会毎にカスタマイズしてもよい。
- 次の内容を含むものとする
 - ・自分や将来を見つめる内容
 - ・地域の産業，伝統にかかわる体験を通じて自分を振り返る内容
 - ・教科学習，教科外学習，学校外活動の視点で自己の変容が分かる内容
 - ・学年や校種をつなげる振り返りや目標設定の内容
 - ・保護者や教師が対話的に関われる内容
 - ・12年間を通じて，キャリア形成に関わる基礎的・汎用的能力の4つの能力を振り返ることのできる内容
 - ・小学6年生，中学3年生の校種のまとめとして記入する「振り返りとこれからに向けて」は統一書式・内容とする

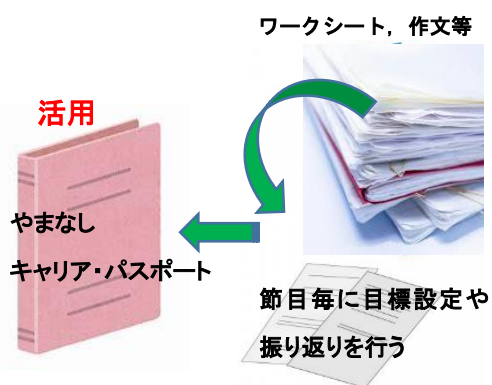
【装丁】

- ・A4版ファイル（2穴フラットファイルなど）耐久性のある材質（PP製が望ましい）
- ・上記ファイルは各学校で用意する。
- ・使用する紙はコピー用紙や上質紙（画用紙や厚みのある紙は保存の点から望ましくない）

取り組み方

児童生徒が今までまとめてきたワークシートや日常の作文や手帳を基に，節目毎に目標設定や振り返りを行い「やまなしキャリア・パスポート」にまとめる。

年度始め，学期，学年末に1年間や，入学から卒業までなど中長期的に，学習や部活動，学校行事，校外活動など学校教育活動や地域社会での体験を通じて目標設定や振り返りができる内容とする。



指導上の留意点

- 指導者用手引きを参考にし，記入内容の意義やねらいを明確にして指導する。
- 学校や市町村で作成しているキャリアノート等のまとめとしても活用できる。

管理と引き継ぎについて

キャリア・パスポートは小・中・高校の12年間を通じ引き継がれ、学年や校種を越えた学びをつなぐものとして、引き継ぐ次学年や中学校、高等学校は、その意義を理解し活用していくことが大切である。

1 保管・管理について

キャリア・パスポートには、個人情報が含まれることが想定されるため、管理は原則、学校が行う。個人情報の保護や、記録の紛失・流失に十分注意することが必要である。

2 進級時の引き継ぎについて

進級時の学年間の引き継ぎは、原則、教師間で行う。次の学年職員に確実に引き継ぎ、新学期の始まる前の児童理解、生徒理解に活用することが考えられる。

3 進学時の引継ぎについて

- ・引き継ぎに向けて・・・小学6年生、中学3年生の時に学校のまとめとして、統一書式「振り返りとこれからに向けて」（やまなしキャリア・パスポート例示資料）を作成し、「やまなしキャリア・パスポート」に保管する。
- ・校種間の引き継ぎ・・・原則、児童生徒を通じて行う。ただし小・中学校間においては、指導要録の写しなどと一緒に学校間で引き継ぐことも考えられる。校種間の引き継ぎは、入学式前後の早い段階で生徒に提出を求め、新学期の始まる前の児童理解、生徒理解に活用することが考えられる。

4 卒業後の扱いについて

キャリア・パスポートは学校を卒業したら、その役目が終わるわけではなく、児童生徒には卒業後社会に出た後も「やまなしキャリア・パスポート」を大切に保管し、これまでの歩みを振り返り、将来の展望や生き方を考えることのできる財産となることを意識付けすることも大切である。

○参考資料 文部科学省のWebサイトはこちらです

「キャリア・パスポート」
例示資料等について



「キャリア・パスポート」
Q&Aについて



山梨県教育委員会
キャリア教育
イメージキャラクター
『キャモシカ』

県の獣である「忍耐・努力」を表すカモシカのように力強く生きていくという願いをこめました